

事業群評価調書（令和7年度実施）

基本戦略名	3-3 安全安心で快適な地域を創る	事業群主管所属・課(室)長名	県民生活環境部 地域環境課	赤澤 貴光
施策名	4 豊かできれいな海づくり、くらしやすい環境づくりの推進	事業群関係課(室)	諫早湾干拓課、水環境対策課	
事業群名	① 大村湾・諫早湾干拓調整池の水質改善	令和6年度事業費(千円)	※下記「2. 令和6年度取組実績」の事業費(R6実績)の合計額	300,046

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文)										(取組項目)	
閉鎖性の強い海域である大村湾の環境保全と活性化を図るため、流入負荷抑制対策、生物多様性の保全及び流域住民の親水意識醸成等に取り組みます。 また、諫早湾干拓調整池の水質改善のため、流入負荷削減対策など、国、県、市の関係機関で連携して取り組みます。										i) 大村湾・諫早湾干拓調整池の水質改善 ii) 大村湾周辺の里海づくり	
事業群	指標		基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	【進捗状況の分析】 令和6年度の大村湾の水質は、COD75%値平均が2.5mg/Lであり、目標を達成できなかった。一因としては湾内で発生した赤潮の影響が考えられるが、その他にも降雨による流域からの汚濁負荷の流入などさまざまな要因が考えられる。 また、諫早湾干拓調整池の水質は目標値を超過した状況が続いており、流域からの汚濁負荷の流入や調整池内の底泥の巻き上げ、植物プランクトンの影響などさまざまな要因が考えられる。 いずれの水域においても関係機関が連携して水質保全対策を継続して行うことが必要である。	
	大村湾の水質 (COD※75%値平均) ※COD(化学的酸素要求量)の略。海域、湖沼の水の有機汚濁物質等による汚れの度合いを示す指標。	目標値①		2.0mg/L	2.0mg/L	2.0mg/L	2.0mg/L	2.0mg/L	2.0mg/L (R7)		
		実績値②	2.0mg/L (R元)	2.4mg/L	2.0mg/L	2.3mg/L	2.5mg/L		進捗状況		
		達成率②/①		0%	100%	0%	0%		遅れ		
	指標		基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)		
	諫早湾干拓調整池の水質 (COD 75%値平均)	目標値①		—	—	—	—	5.0mg/L	5.0mg/L (R7)		
		実績値②	8.6mg/L (R元)	8.0mg/L	9.3mg/L	9.0mg/L	8.6mg/L		進捗状況		
		達成率②/①		—	—	—	—	—	—		
	指標		基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)		

2. 令和6年度取組実績（令和7年度新規・補正事業は参考記載）

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費（単位:千円）			事業概要 令和6年度事業内容及び実施状況 (令和7年度新規・補正事業は事業内容)	指標（上段：活動指標、下段：成果指標）				令和6年度事業の成果等
				R5実績	うち一般財源	人件費 (参考)		主な指標	R5目標	R5実績	達成率	
				R6実績					R6目標	R6実績		
				R7計画					R7目標			
				事業実施の根拠法令等								
				事業期間	法令による事業実施の義務付け	県の裁量の余地がない事業			他の評価対象事業 (公共、研究等)			
所管課(室)名			事業対象									
取組項目 ii	○	1	みらいにつなぐ大村湾事業	4,062	3,226	7,659	●事業内容 「第4期大村湾環境保全・活性化行動計画」（行動計画）に基づく取り組みを推進し、「I”宝の海”大村湾」の実現を目指す。 ●実施状況 行動計画に掲げる事業の進捗管理を行ったほか、環境改善や沿岸を含む地域活性化を図るため、造成済の浅場を活用した体験活動、関係団体と連携した大村湾内の浮遊ごみの除去等を実施した。	【活動指標】 大村湾体験活動実施回数（回）	5	5	100%	●事業の成果 ・令和6年度は水質目標を達成できなかった。関係機関と連携した対策の継続が必要である。 ・造成済の浅場を活用した浅場体験学習を実施し、水質保全の必要性に関する啓発を行った結果、親水意識の醸成につながった。 ●事業群の目標達成への寄与 ・地元市町やボランティア等関係団体と連携し、浅場の維持・管理を行うとともに、環境学習の場として活用することで、親水意識の醸成とともに、水質改善に寄与した。
				4,327	3,081	7,884			3	3	100%	
				7,968	5,956	7,878			3			
				第4期大村湾環境保全・活性化行動計画					【成果指標】 大村湾の水質 (COD75%値平均) (mg/L)	2.0	2.3	
			R元-5、R6-R7					2.0	2.5	0%		
			地域環境課	—	—	—		大村湾流域	2.0			

取組項目 i	2	諫早湾干拓調整池水辺空間づくり事業	5,986	65	6,128	●事業内容 「第3期諫早湾干拓調整池水辺環境の保全と創造のための行動計画」（行動計画）を推進し、水質保全目標の達成を目指す。 ●実施状況 行動計画に掲げる事業の進捗管理を行ったほか、流入河川の水質等の調査、イベント等へ参加し水質保全に関する啓発活動を行った。	【活動指標】 -R5:諫干イベント参加者数（人）	3,000	1,200	40%	●事業の成果 ・地域イベントへの参加やチラシの配布等により水質保全に関する啓発を行った結果、環境保全への意識醸成につながった。
			3,843	353	7,096		R6-:幹事会・関係機関との打合せ（回）	2	3	150%	
			7,605	893	7,090			2			
			第3期諫早湾干拓調整池水辺環境の保全と創造のための行動計画				【成果指標】	—	9.0	—	
			H25-R7				諫早湾干拓調整池水質（COD75%値平均）(mg/L)	—	8.6	—	
	地域環境課	—	—	—	諫早湾干拓調整池						
	3	(企)大村湾南部流域下水道事業費（公共）	634,068	0	—	●事業内容 大村湾南部流域下水道事業は、大村湾南部流域の水質保全のために、終末処理場などの整備を行うものである。なお、事業推進のためには、流域関連市との連携が必要であることから、議論を進めていく場として協議会を設けている。 ●実施状況 令和6年度は大村湾南部浄化センターの水処理施設を高度処理化する設計委託や、ストックマネジメント計画に基づく浄化センター内の用水消毒などの設備更新を行った。	【活動指標】	5	5	100%	●事業の成果 ・大村湾南部浄化センターにおいては、全6系列の水処理施設のうち、3つの系列の高度処理化が完了しているが、残り3系列のうち2系列を施工するための設計委託や浄化センター内設備の更新工事など、汚水処理施設の整備を図った。 ●事業群の目標達成への寄与 ・高度処理化を推進することにより、大村湾の水質改善に寄与した。
			282,850	0	—		協議会等開催回数（回）	5	5	100%	
			886,025	0	—			5			
			下水道法				【成果指標】	100	100	100%	
			H5-R22				放流水質の遵守基準の達成率（％）	100	100	100%	
	水環境対策課	—	—	○	大村湾流域	100					
	4	諫早湾干拓周辺地域環境保全推進委託事業	8,685	0	—	●事業内容 諫早湾干拓周辺地域環境保全型農業推進委託事業については、諫早湾干拓周辺地域における調整池水質保全に係る営農実態調査、施肥改善対策推進、流域負荷軽減対策の効果検証を行っている。 ●実施状況 諫早湾周辺地域において、タマネギの減肥技術試験圃設置による環境保全型農業の現地実証、研修会での浅水代かきや土壌流出防止に向けたカバークロップ取組み推進の周知、啓発チラシの配布を行い、環境に優しい農業の推進を図った。	【活動指標】	3	3	100%	●事業の成果 ・肥料使用量削減等の環境保全型農業による現地実証や啓発等により、環境に優しい農業の推進が図られた。 ●事業群の目標達成への寄与 ・現地実証や啓発等により、諫早湾干拓調整池の水質改善目標達成に向け寄与した。
			9,026	0	—		国、関係機関との事業打合せ（回）	3	3	100%	
			9,560	0	—			3			
			—				【成果指標】	3	3	100%	
			H25-R7				啓発活動等の実施（現地実証・研修会・チラシ作成）（回）	3	3	100%	
			諫早湾干拓課	—	○		—	諫早湾干拓調整池	3		

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i 大村湾・諫早湾干拓調整池の水質改善	
●実績の検証及び解決すべき課題 （大村湾関係） ・「第4期大村湾環境保全・活性化行動計画」に掲げる取組は概ね目標どおり実行されており、大村湾のCODは長期的には改善傾向となっている。一方、湾奥部などはCODが高い傾向が見られる。原因は様々考えられるが、引き続き関係機関が連携して行動計画に掲げる各種の対策を実行する必要がある。 （諫早湾干拓調整池関係） ・「第3期諫早湾干拓調整池水辺環境の保全と創造のための行動計画」に掲げる各種の対策は概ね目標どおり実施しているが、諫早湾干拓調整池のCODは水質保全目標を達成していない。引き続き関係機関が連携して行動計画に掲げる各種対策に取り組む必要がある。	●課題解決に向けた方向性 ・いずれも今年度が行動計画の終期となることから、現状の課題等を踏まえた次期行動計画の策定を進める。また、引き続き関係機関一体となって流入負荷抑制対策や流域住民への親水意識醸成等について取組等を進めていく。
ii 大村湾周辺の里海づくり	
●実績の検証及び解決すべき課題 ・県が造成した浅場（大村市、時津町）は、二枚貝等多様な生物の生息場となっていることが確認され、また、住民の親水意識を高めるイベント等に活用されている。 ・親水意識の向上のためには継続した取組が必要である。	●課題解決に向けた方向性 ・造成した浅場の利活用について、県でも環境学習会を行うとともに、民間や流域市町等が行うイベント等を支援する。

4. 令和7年度見直し内容及び令和8年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	令和7年度事業の実施にあたり見直した内容	令和8年度事業の実施に向けた方向性		
			事業期間		事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
			所管課(室)名				
取組項目 ii	○	1	みらいにつなぐ大村湾事業	・令和7年度は「第4期大村湾環境保全・活性化行動計画」の終期である。大村湾の環境保全や活性化には、流域の市町等関係機関が一体となって取り組む必要があり、現在の取組の改善や新たな取組の実施について検討しながら、策定作業を進めることとしている。	③⑤⑦	大村湾の水質改善のためには、流域の市町等関係機関が一体となって取り組む必要があり、現在の取組の改善や新たな取組について検討・実施し、目標達成を目指す。	改善
			R元-5、R6-R7				
			地域環境課				
取組項目 i		2	諫早湾干拓調整池水辺空間づくり事業	・令和7年度は「第3期諫早湾干拓調整池水辺環境の保全と創造のための行動計画」の終期である。諫早湾干拓調整池の水質改善のためには、九州農政局等関係機関が一体となって取り組む必要があり、現在の取組の改善や新たな取組について検討し、策定作業を進めることとしている。	③⑤⑦	諫早湾干拓調整池の水質改善のためには、九州農政局等関係機関が一体となって取り組む必要があり、現在の取組の改善や新たな取組について検討・実施し、目標達成を目指す。	改善
			H25-R7				
			地域環境課				

注：「2. 令和6年度取組実績」に記載している事業のうち、令和6年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】
① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。
② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案（制度改正要望）する必要があるか。
⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
⑩ その他の視点